

2024 鳥栖市勢要覧

# TOSU CITY GUIDE





鳥栖市長  
むかいかど よしひと  
**向門 慶人**

## ごあいさつ

鳥栖市は、鉄道や高速道路が交差する九州陸路交通の要衝として、その地理的優位性を背景に多数の企業が進出し、九州における製造拠点・流通拠点都市として発展してまいりました。現在も、佐賀県と協力しながら、新たな産業団地の開発に取り組んでいます。

スポーツも盛んなまちで、鳥栖市をホームタウンとし、鳥栖市を拠点に活動するサッカー・Jリーグ『サガン鳥栖』とバレーボール・Vリーグ『久光 Springs』は、国内最高峰の舞台で活躍し続けており、市民の皆さまに勇気と感動を与えています。

また、商業施設や飲食店が並ぶ市街地から車で10分程度の距離には、田園風景や四季の移り変わりを楽しむことができる豊かな自然も広がっています。この素晴らしい環境を後世へと引き継いでいくためにも、令和5年12月に『ゼロカーボンシティ宣言』を行いました。

今後も、市民の皆さまが住みよさを実感し「これからも鳥栖に住み続けたい」と思っただけのように、また、鳥栖市の魅力をさらに高めることで「鳥栖に住みたい」と思っただけのように、『選ばれ続けるまち』を実現するための施策を展開してまいります。

この市勢要覧で、鳥栖市の魅力を感じ取っていただければ幸いです。

## CONTENTS 目次

02 >>> 03	市長あいさつ、市の概要	16 >>> 17	お祭り・イベント年間ガイド
04 >>> 05	魅力① 交通の要衝	18 >>> 23	総合計画 3つの鳥栖スタイル
06 >>> 07	魅力② プロスポーツのホームタウン	24 >>> 25	議会紹介、移住者インタビュー
08 >>> 09	魅力③ イベント	26 >>> 27	歴史でみる鳥栖市
10 >>> 11	魅力④ 歴史・伝統	28 >>> 29	データでみる鳥栖市
12 >>> 15	とすスポット	30 >>> 31	とすマップ



### 鳥栖市の概要

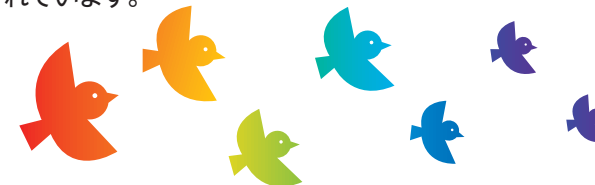
佐賀県の東端、福岡県との境に位置しています。昭和29年4月に鳥栖町、田代町、基里村、麓村、旭村の2町3村が合併して発足しました。

人口は一貫して増加しており、令和6年1月末現在(推計人口)は74,756人で県内第3位、人口密度約1,042.3人/k㎡は県内第1位で、今後も増加が見込まれる元気なまちです。

鳥栖市の大きさ 71.72k㎡ (東西8.2km、南北9.0km)

### 『鳥栖』という地名の由来

鳥栖という地名は『鳥の栖』という意味です。奈良時代に書かれた『肥前風土記』によると、この地域に住む人々が鳥小屋を作り、さまざまな鳥を捕まえて飼いならし、朝廷に献上したことから『鳥屋の郷』や『鳥櫓(巣)郷』と呼ばれ、後に『鳥栖』という地名になったと伝えられています。



### 市イメージキャラクター『とつとちゃん』



市の鳥『メジロ』をモチーフにしたかわいらしい姿は、こどもたちから大人気で、市民の皆さんからも親しまれています。名前は、方言の『とつとつ(とつっているの意)』と『とり』からの連想が由来です。





明治22年に開業した  
鹿児島本線と長崎本線の分岐点である「鳥栖駅」



鳥栖市から九州の各方面へとつながっていることが分かる  
鳥栖インターチェンジ付近の案内標識

## 九州のクロスロード

九州を縦横断する高速道路のクロスポイント『鳥栖ジャンクション』があり、国道など主要幹線道路の分岐点にもなっているほか、鹿児島本線と長崎本線の分岐点である『JR鳥栖駅』、九州新幹線の停車駅『JR新鳥栖駅』も有しています。九州陸路交通の要衝として発展してきた鳥栖市は、まさに『九州のクロスロード』です。

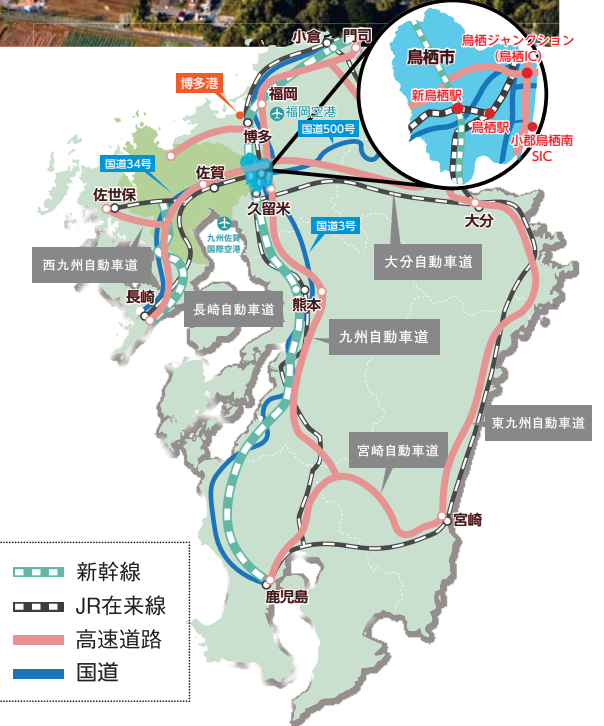


周辺に工場や倉庫が立地する「鳥栖ジャンクション」を中心に東西南北に走る高速道路

鳥栖のここが魅力 **1**  
交通の要衝

## 「九州陸路の真ん中」

## 抜群の交通アクセス



### 多数の企業が進出

九州内の移動に便利であることから『鳥栖=九州の真ん中』という評価も受けており、多くの企業が九州の製造・物流拠点として進出。市内には7つの産業団地を有していますが、即完売する状況が続いています。

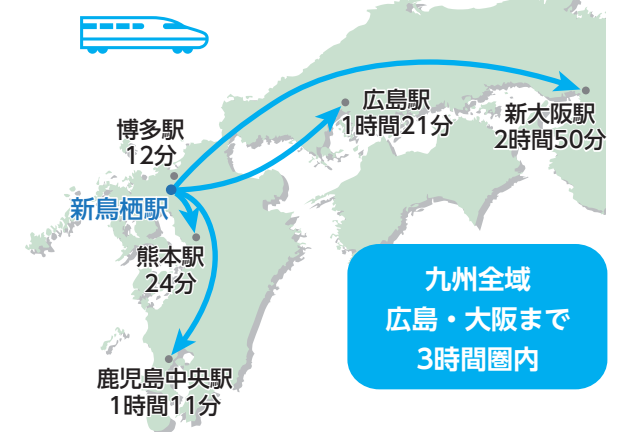
鳥栖市企業立地ガイド▶



#### ● 高速道路を使用した場合の所要時間(目安)



#### ● 新幹線を利用した場合の所要時間(目安)



九州新幹線と在来線(長崎本線)が交差する「新鳥栖駅」





## サガン鳥栖



平成9年に鳥栖市をホームタウンとして創設。平成11年のJ2リーグ発足に伴い、Jリーグに加盟し、平成24年に念願のJ1リーグ初昇格を果たしました。ホームスタジアムの『駅前不動産スタジアム』では、年間20試合以上行われ、国内最高峰のプレーを目当てに、毎試合多くの観客が来場。スタジアムはサガン鳥栖のイメージカラー『サガンプルー』に染まり、街を熱気が包みます。



サガン鳥栖  
ホームページ

### 【サガン鳥栖クラブマスコット】 ウイントス

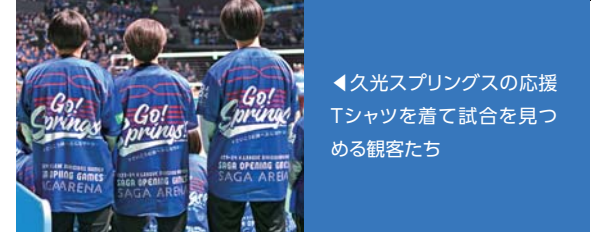
佐賀・筑後地方に生息するカチガラスのリーダー。強い者、大きい者に対してもひるまず、勇敢に立ち向かっていく。特技は早起きであいさつ運動が得意。



駅前不動産スタジアムにて、ゴールが決まり喜ぶサガン鳥栖の選手たち



サロンパス®アリーナで開催された試合の様子



サガン鳥栖の応援Tシャツを着て試合を見つめる観客たち



市内のイベントで、路上でバレーボールをして交流する久光スプリングスの選手と子どもたち

## 鳥栖のここが魅力 2 プロスポーツのホームタウン

# 国内最高峰のプレーを身近で体感!



SAGAアリーナ(佐賀市)にて、セットポイントを取り喜ぶ久光スプリングスの選手たち

## 久光スプリングス



昭和23年に久光製薬鳥栖工場のバレーボール部として創設。平成6年のVリーグ発足に伴い、Vリーグに加盟。リーグ優勝8回(令和6年2月時点)を誇る名門チームで、令和5年からは新練習拠点『サロンパス®アリーナ』が完成し、鳥栖市を中心に活動しています。選手たちはバレーボール教室で子どもたちを直接指導したり、市内イベントなどにも参加し、市民と交流を深めています。



久光スプリングス  
ホームページ

### 【久光スプリングスチームキャラクター】 ハルちゃん

春を告げる鳥『メジロ』がモチーフ。キュートで女性らしく、力強さを持ち、久光スプリングスを世界へ大きく羽ばたかせるためにやって来たスーパープレイヤー。







まつり鳥栖にて、交差点に設置されたやぐらを囲むように行われる「市民総踊り」

## 多彩なイベント

年間を通じてさまざまなイベントが開催されており、市民が一体となってまちを盛り上げています。

### ●鳥栖山笠

昭和3年に始まった祭りで、威勢のいい掛け声とともに6基の山車と子供山が市街地を練り歩き、沿道から力水が舞う鳥栖の夏の風物詩。山車を上下に激しく揺らす『がぶり』は圧巻です。



### ●まつり鳥栖

毎年7月の最終日曜日に開催。鳥栖駅前の商店街一帯が歩行者天国となり、パレードや市民総踊りなど、さまざまなイベントが行われます。屋台も多く出店し、年齢問わず多くの人でにぎわいます。

### ●とす長崎街道まつり

鍋島藩轟木宿と対馬藩田代宿を結ぶ長崎街道で開催される街歩きイベント。各会場では、侍や忍者、町民など江戸時代の衣装に身を包んだガイドやボランティアが登場し、タイムスリップ感覚を味わえます。



### ●鳥栖市民文化祭～とすフェス～/花とみどりの祭り

鳥栖市民文化会館一帯で開催。『とすフェス』では舞台・展示発表や文化活動体験が行われ、園芸教室などを開く『花とみどりの祭り』も同時開催し、芸術の秋を堪能しながら、緑との触れ合いを楽しめます。



鳥栖のここが魅力 **3**  
イベント

# 想いをひとつに!

# 熱気が街を盛り上げる



鳥栖市ホームページ  
イベントカレンダー



鳥栖市ロードレース大会でスタートを切った選手たち

### ●大山祇神社の紅葉ライトアップ

毎年、紅葉の見頃にあわせて、河内大山祇神社周辺で紅葉のライトアップが行われます。境内には巨大な古木が寄り添うようにそそり立ち、赤や黄色に染まった幻想的な風景を楽しめます。



### ●ハートライトフェスタ

中央公園を色とりどりの光が包むイルミネーションイベント。総電球数約20万球の光と竹灯りのほか、屋台も多数出店し、期間中は市内外から10万人以上が来場。鳥栖の冬を盛り上げています。



### ●鳥栖市ロードレース大会

『2キロ小学生』や『10キロ男女』などさまざまな種目があり、実力派ランナーから市民ランナーまで1,000人以上が参加。『10キロ高校生』は日本陸連の公認コースで、全国高校駅伝出場選手も多数参加します。

### ●とす弥生まつり

約600本のソメイヨシノが咲き誇る桜の名所・田代公園をメイン会場として開催。弥生時代の装束をまとった演者による武人舞や巫女舞など、鳥栖の歴史と自然を感じることができる春祭りです。

とす弥生まつりで披露される「巫女舞」▶







色とりどりの衣装に身を包んで披露される「四阿屋神社の御田舞」

## 受け継がれる民俗芸能

市内で行われる個性豊かな民俗芸能は、時代にあわせた形で受け継がれており、地域の世代間交流を深める役割も果たしています。

### ●村田浮立【市重要無形民俗文化財】

豊年感謝・無病息災の芸能。二頭立てで舞う村田町の獅子舞と、大名行列の様式を残す江島町の行列浮立からなります。奉納場所は村田八幡神社～江島町石王社。



### ●藤木の獅子舞【市重要無形民俗文化財】

二頭立ての獅子舞が、童子の獅子つりにつられるようにして演舞を披露。次世代への継承の目的で、小学生によるポンテン踊りも行われます。奉納場所は藤木宝満神社。



### ●四阿屋神社の御田舞【県重要無形文化財】

田植えの諸作業を芸能化したもので、豊作を祈る「御田植祭」。早乙女姿の田童のあどけない仕草や鬼の勇壮な舞など、古式豊かな田植えの舞として貴重なものです。奉納場所は蔵上老松神社。

### ●曾根崎の獅子舞【市重要無形民俗文化財】

鉦・太鼓の演奏によって演じられる獅子舞と道囃子からなり、土地の悪霊を鎮め、人々を浄め、豊作を祈願する貴重な芸能です。奉納場所は曾根崎老松神社。



### ●宿の鉦浮立【市重要無形民俗文化財】

小頭、鉦打ち、大太鼓、小謡、踊り子からなり、鉦打ちは同じ大きさの鉦10個をそれぞれ1人ずつ持ち、打ちながら踊ります。奉納場所は宿町船底神社。



鳥栖のここが魅力 **4**  
歴史・伝統

# 歴史・伝統に思いを馳せ、次代につなぐ



鳥栖市立Web博物館



つばしよ 勝尾城筑紫氏遺跡見学会で、葛籠城主郭から鳥栖市内を望む参加者たち



東西約2.5km、南北約2.0kmに及び勝尾城筑紫氏遺跡の全景俯瞰図

## 歴史をかたる史跡・文化財

### ●勝尾城筑紫氏遺跡【国史跡】

1586年の落城時の姿がそのまま残されており、戦国時代の山城や屋敷跡など城下町の姿を知る上で大変貴重な遺跡。石垣や土塁、堀などを見ることができます。所在地は牛原町、山浦町、河内町。



### ●田代太田古墳【国史跡】

約1450年前の古墳時代後期に築造された直径約42mの大型古墳。彩色壁画系装飾古墳として早くから知られており、1926年に国の史跡に指定されています。所在地は田代本町。



昔から人の行き来が盛んだった鳥栖市内には、今も多くの文化財が残っています。

### ●安永田遺跡出土 鎔范 一括【国重要文化財】

国史跡「安永田遺跡」から出土した銅鐸の鑄型片2個体分5点と、銅矛の鑄型片4個体分5点。九州にはないとされていた銅鐸の鑄型の発見は、教科書も書き換える発見とされ、大きな話題になりました。



### ●袖比本村遺跡墳墓出土品 一括【国重要文化財】

袖比本村遺跡の約2100年前（弥生時代中期）の甕棺墓から出土した、碧玉で飾った銅剣の鞘（赤漆玉鈿装鞘銅剣）と銅剣7本、青銅製の剣の柄頭の飾り2点。約1900年前の甕棺から出土した、鉄剣1本とガラス製勾玉です。





●駅前不動産スタジアム

約25,000人収容の競技場。サガン鳥栖のホームスタジアムで、チームのイメージカラーに塗装されています。



●鳥栖スタジアム北部グラウンド

2面の天然芝グラウンド。サガン鳥栖の練習場所としても利用されています。



●コカ・コーラ ボトラーズ  
ジャパン鳥栖市民の森

河内ダムの湖畔にあり、四季折々の景色が楽しめます。



●鳥栖市陸上競技場

トラックはポリウレタン系全天候型舗装材を使用しており、フィールド内は全面天然芝が張られています。



●サロンパス®アリーナ

久光スプリングスの練習拠点。約1,400席のメインアリーナに加え、主に市民が利用できるサブアリーナなどが併設されています。



©Hisamitsu Pharmaceutical Co.,Inc. All rights reserved.

●四阿屋

森林に囲まれた絶好の避暑地。夏季は遊泳場として開放しています。



●鳥栖市民球場

天然芝の外野やLEDスコアボードを備えた本格的な野球場です。



●田代公園

ソメイヨシノが咲き乱れる桜の名所。ライトアップも楽しめます。



●御手洗の滝

修験者が立ち寄り、手を洗って身を清めたことが由来。第1の滝と第2の滝があります。



●鳥栖市民体育館

648席を備えた2階建ての体育館。各種室内競技が可能で、武道場やトレーニングルームがある諸室を併設しています。



●朝日山公園

山頂からは市内が一望でき、春には桜の多くの人にぎわいます。







●鳥栖プレミアム・アウトレット  
国内外の人気ブランド約170店舗が集まった大型アウトレットモール。観光客など多くの人でにぎわいます。



●268号 機関車  
鉄道のまちの象徴的なとして発展してきた鳥栖遺産。鳥栖駅東に常設。



●中富記念くすり博物館  
鳥栖市で興ったくすり産業の歴史に触れることができます。



●とりごえ温泉 栖の宿  
河内ダムの湖畔にあるロッジ風の温泉付き宿泊施設。併設のキャンプ場も人気です。



●御手洗の滝キャンプ場  
御手洗の滝の下流に位置する常設 TENT を備えたキャンプ場。夏季のみ営業しています。



●鳥栖市立図書館  
約20万冊所蔵。視聴覚室や展示ルームも備えています。



●鳥栖市民文化会館  
約1,500人収容の大ホールなどを完備。式典やコンサートで利用されています。



●河内河川プール  
自然石を生かし、川の水を直接引き込んだプール。夏季のみ開放しています。



●沼川河川プール  
御手洗の滝キャンプ場の下流にある河川プール。夏季のみ開放しています。



●勝尾城筑紫氏遺跡  
国史跡に指定の城跡。鳥栖を本拠に筑前、筑後、肥前で勢力をふるった筑紫氏の本城跡です。



●鳥栖市生涯学習センター  
会議室やスポーツ室を備えた、生涯学習と交流の場。



●佐賀競馬場  
九州唯一の地方競馬。白熱したレースが展開されています。



●新鳥栖駅 観光案内所  
鳥栖市の他、北部九州の観光情報を発信。鳥栖・佐賀の特産品を取り揃えています。



●フツペルのピアノ  
映画「月光の夏」のモデルとなったピアノ。平和のシンボルとしてサンメッセ鳥栖に常設しています。



●サンメッセ鳥栖  
ホールや会議室を備えた施設。文化交流や憩いの場としても利用されています。



# Festival & Event Guide

## お祭り・イベント 年間ガイド

鳥栖のまちを彩る恒例の行事や伝統的な祭りを四季に分けて紹介します。

### 春 Spring



▲田代公園の桜ライトアップ

3月  
とす弥生まつり  
曾根崎の獅子舞  
田代公園の  
桜ライトアップ

4月  
牛原の獅子舞  
神辺の獅子舞  
(3年に一度実施)  
宿の鉦浮立



▲牛原の獅子舞

### 春の農産物



**アスパラガス**  
佐賀県産のアスパラガスは高品質で、鳥栖市を含む県東部地区は県内有数の産地です。



**タマネギ**  
佐賀県は全国2位の収穫量を誇り、鳥栖市内でも約12haで栽培されています。



▲神辺の獅子舞

### 夏 Summer



▲河内河川プール

7月  
鳥栖山笠  
まつり鳥栖  
四阿屋遊泳場・河内河川  
プール・沼川河川  
プール開設

8月  
平和記念コンサート  
「フッペルと共に」  
筑後川花火大会



▲平和記念コンサート「フッペルと共に」

### 夏の農産物



**ジャガイモ**  
ポテトチップスに使用される「トヨシロ」「ぼろしり」という品種が、市内で多く栽培されています。



**ニガウリ**  
沖縄の特産品として有名ですが、鳥栖市内でも約30年前から栽培・出荷されています。



▲筑後川花火大会(鳥栖会場)

### 秋 Autumn



▲とす長崎街道まつり



▲鳥栖市民文化祭～とすフェス～



▲花とみどりの祭り

10月  
村田浮立  
四阿屋神社の御田舞  
藤木の獅子舞  
とす長崎街道まつり

11月  
鳥栖市民文化祭  
～とすフェス～  
花とみどりの祭り  
大山祇神社の  
紅葉ライトアップ



**米**  
鳥栖市内では主に、佐賀県独自の銘柄「さがびより」「ヒノヒカリ」「夢しずく」が生産されています。また、もち米や飼料用米など、必要に応じて作付けされています。



### 冬 Winter



▲消防出初式



▲二十歳の式典



▲鳥栖市ロードレース大会

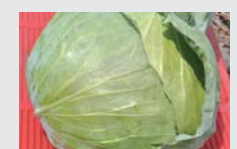
12月  
ハートライトフェスタ

1月  
消防出初式  
二十歳の式典  
鳥栖市  
ロードレース大会

### 冬の農産物



**イチゴ**  
佐賀県は全国有数のイチゴの産地。県独自の銘柄「いちごさん」が主に栽培されています。



**キャベツ**  
冬は「冬勝利」「おきな」「龍溪(リウキ)」という品種が多く栽培され、濃い色で強い甘みの特徴です。





住み良さを実感し、  
誇りにできるまち



鳥栖市総合計画▶

## 住み良さ

- 市制施行以降、人口が増加し続けている元気なまちです
- 民間が実施するまちの住みやすさランキングで、九州内で上位にランクインしています

## 自然との共生

- 集い、交流する緑の空間整備のため、公園遊具のリニューアルに取り組んでいます
- 環境と共生するライフスタイルを将来の世代へ引き継ぐため、令和5年に『ゼロカーボンシティ宣言』を行いました

## 心豊かに育つ

- 豊かな日本語や礼儀作法を身に付け、鳥栖市を愛し、次世代を担うこどもの育成を目的に、市立小・中学校で教科『日本語』を実施しています
- 病児保育や一時預かりなど、各種保育サービスの充実に取り組んでいます



鳥栖のまちや市民に魅力を感じて、「鳥栖に住んでみたい」「鳥栖に住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めます。

- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |

①リニューアルした田代公園の遊具で遊ぶ移住者家族。移住者からは「子育て世代が多い」「利便性と自然のバランスが良い」などの評価を受けています(25ページに移住者インタビューを掲載) ②拾ったごみの量などを競うスポーツ感覚で行うごみ拾い「スポGOMI」。「ごみ拾いはスポーツだ!」の掛け声で競技がはじまり、まちをきれいにしながら地域愛も育みます ③市立小・中学校で実施している教科『日本語』。鳥栖市独自で作成した教科書を使用し、古文やことわざ、落語などのほか、礼儀作法も学びます ④市立保育園での一時預かりの様子。保護者の用事やリフレッシュなど、理由を問わず利用可能で、子育てに関する相談も気軽にできます





市民がつながり、活躍できるまち



鳥栖市総合計画▶



### 協働のまちづくり

- 「私たちの好きなまちは、私たちでつくろう」を合言葉に、市内8地区のまちづくり推進協議会で、地域の課題解決を目的に活動しています
- 男女共同参画社会の実現を目指し、フォーラムやセミナーを開催しています

### 多文化共生

- 国際交流イベント『こくさいカフェ』や日本語教室『とすにほんごひろば〜とりんす〜』を開催しています
- 鳥栖・ツアイツ子ども交流事業でホームステイなどを行い、子どもたちが異文化交流に取り組んでいます

### 支え合い

- いつまでも安心して暮らせるように、高齢者などに定期的な声掛けを行うなど、近隣住民や協力事業者による見守り活動に取り組んでいます
- 各町区の憩いの場である『通いの場』の立ち上げ支援を実施しています



「鳥栖をこんなまちにしたい。そのためにはこんなことができる」—市民がこうした気持ちになれるように、行政が共に考え、後押しし、人と人がつながり、市民が活躍できるまちづくりを進めます。

- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |
- ①「まちづくり推進協議会(まち協)」の活動の様子。各地区のまち協は、安全・安心や地域交流、健康福祉などの部会を設置し、さまざまな分野で活動を行っています ②毎年開催している「男女共同参画フォーラム」。参加者からは「自身の言動を振り返ったり、これからの行動を考える有意義な時間になった」などの感想が寄せられています ③「鳥栖・ツアイツ子ども交流事業」に参加した鳥栖市とツアイツ(ドイツ)の子どもたち。新型コロナウイルス感染症による活動自粛期間中もオンラインで交流し、文化などを紹介しあいました ④各町区の公民館などで行っている「通いの場」。住民主体で介護予防の体操(とすっこ体操)などを行っており、健康づくりやつながり構築の場となっています





九州を繋ぎ、  
リードするまち



鳥栖市総合計画▶

鳥栖は、九州陸路交通のクロスポイントという地理的優位性を背景に、優れた技術・産業が集積するまちです。今後もこれらの魅力を磨き、有効に活かす取り組みを展開することで、九州における存在感を発揮し、九州をつなぎ、リードするまちづくりを進めます。

## 産業の活性化

- 企業の受け皿を確保するため、佐賀県と連携し、新たな産業団地の開発に取り組んでいます
- IT人材の安定確保と相互成長を目的に、高等学校などとIT人材確保に関する連携協定を締結しています

## 研究拠点

- 学術の振興や地域社会への貢献を目的に、国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター、佐賀県立九州シンクロtron光研究センター、九州国際重粒子線がん治療センターとの4者連携協定を締結しています

## 広域連携

- 県境を越えた地域の発展を目指すため、『筑後川流域クロスロード協議会』で福岡県久留米市・小郡市、佐賀県基山町と、『グランドクロス広域連携協議会』で同2市1町および福岡市と連携しています



- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |
- ①鳥栖市内のIT関連進出企業が、高校生へ特別授業を実施。IT人材の確保につながっています ②産業や社会に役立つ技術の創出を目指す『国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)』の九州唯一の拠点。スマート製造センシング技術に関する最先端の研究が行われています ③シンクロtron光を利用する九州唯一の産学官の研究開発拠点『佐賀県立九州シンクロtron光研究センター(愛称:SAGA-LS)』。地域産業の高度化、新産業の創出を目指しています ④九州唯一の重粒子線によるがん治療施設『九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)』。手術をせずにがん治療ができる、患者に負担の少ないやさしい治療法で、診療向上のための研究も行われています





# 議会

鳥栖市議会は、定数22人の議員で構成され、市民の代表として皆さんの“声”を市政に反映させています。議会には3つの常任委員会を設け、条例や予算、請願などの審査や調査を行っています。また『市議会だより -とすきっぷ-』の発行やケーブルテレビとインターネットによる市議会の中継、議会報告会を開催して市民の皆さんとの意見交換を実施するなど、分かりやすく開かれた議会となるように心掛けています。



鳥栖市議会  
ホームページ



市議会だより  
とすきっぷ

鳥栖市章



昭和29年4月、市制施行にあたり全国からの公募で制定。「と」と「す」を組み合わせ、市民の団結と融和を表しています。

市の花



ハナショウブ

昭和59年4月、市民投票で制定。水辺に栽培される日本独自の園芸植物。色や形が豊富で、初夏に大型の花を咲かせます。

市の木



クロガネモチ

昭和48年4月、市民投票で制定。佐賀地方でモチノキと呼ばれており、雌木には秋から冬にかけて多数の赤い実がなります。

市の鳥



メジロ

平成6年5月、市民投票で制定。スズメより小さく、低い山地や平地の林などに生息し、昔から市民に親しまれています。

鳥栖市の  
情報発信



鳥栖市  
ホームページ



鳥栖市 市民  
ポータルサイト



LINE



X



facebook



Instagram



YouTube



# わたしが鳥栖を選んだ理由 暮らして感じる鳥栖の魅力



鳥栖市移住サイト

妻が二人目を妊娠し、最初は首都圏で住宅の購入を検討していましたが、この先も首都圏で生活を続けた場合、実家の両親に会える日数がわずかになると気が付きました。九州に戻ることを決め、博多やお互いの実家へのアクセスがいいことから鳥栖市を選びました。



普段は自宅でテレワークをしていて、仕事で東京へ行くこともありますが、博多駅までは電車で20~30分、博多駅から福岡空港も近いので、鳥栖市は東京にも行きやすいと思います。また、子育て世代が多く、近所に住む家族同士で交流があり、子どもが友達を作りやすい環境は親にも魅力的です。子ども連れにちょうどいい規模の飲食店が多いのもいいところだと思います。

末広拓夢さん・祥子さん

(拓夢さん：佐賀県出身/会社員)  
(祥子さん：佐賀県出身/主婦)

夫婦ともに佐賀県三養基郡出身で、就職を機に上京。10年ほど首都圏で暮らした後、2021年に鳥栖市へ移住。

東京都内のホテルに勤務していましたが、同じく都内に勤める福岡市出身の婚約者が、九州へのUターンを検討し始めたことから、移住を考えるようになりました。鳥栖市を選んだ一番の理由は立地の良さです。彼の職場がある佐賀市にも、実家のある福岡市にもアクセスしやすい点に魅力を感じて、鳥栖市に新居を持つことを決めました。

鳥栖市の魅力は、生活に必要なものがコンパクトにまとまっている点です。今のところ車を持たずに生活していますが、特に不便はありません。住宅街は静かで、身近に自然もありとても住みやすいです。鳥栖駅の近くにはスタジアムがあって、試合のある日はまち全体が活気に満ち溢れています。



中村多美子さん

(京都府出身/会社員)

京都府出身で、大学進学時に上京。その後、都内のホテルに勤務し、福岡市出身の婚約者との結婚を機に、2021年に鳥栖市へ移住。

結婚当初は鳥栖市、出産を機に佐賀市へ移った後、夫の外出に伴い6年間東京で暮らしました。出向期間を終えて佐賀県に戻る際、以前住んでいたときに感じた福岡へのアクセスのよさは、自身の仕事のしやすさだけでなく、子どもの進路を考えた上でも将来の選択肢を広げることにつながると思い、鳥栖市で家を持つと決意しました。



鳥栖市は外から入ってくる人が多いので、近所に子育て世代も多く、親も子どもも地域のコミュニティになじみやすいと感じています。福岡に比べて土地が安いのも魅力ですね。仕事面では、福岡と佐賀どちらの商圈でも活動できるので、両県のいいとこどりをしていると思います。

姉川智子さん・幸二さん

(智子さん：宮崎県出身/司法書士)  
(幸二さん：佐賀県出身/会社員)

結婚後、鳥栖市と佐賀市富士町で暮らした後、出向に伴い上京。6年間暮らし、佐賀県へ戻ることになった2023年に鳥栖市へUターン。



# 歴史でみる鳥栖市 1954~2024

昭和29年	昭和31年	昭和33年	昭和34年	昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和38年	昭和39年	昭和40年	昭和41年	昭和42年	昭和43年	昭和45年	昭和46年	昭和48年	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和53年	昭和57年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成3年	平成5年	平成6年
1954	1956	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1970	1971	1973	1974	1975	1976	1978	1982	1984	1985	1986	1987	1988	1991	1993	1994
市制施行、鳥栖市発足① ▼初代市長に海口守三氏 ▼工場誘致条例制定、積極的な企業誘致が進む	鳥栖小学校第2分校（鳥栖北小学校）開校	鳥栖市土地改良区設立	「御田舞」が県重要無形文化財に指定▼大字を廃止、新町名に	国道34号（永吉―轟木間）開通	鹿児島本線門司港―久留米間電化開通②	市消防本部、市消防署設置	轟木工業団地の分譲開始	国立九州工業技術試験所（現在の産総研九州センター）開設	第2代市長に安原謙市氏	県東部工業用水道事業（第1期）が完成	市庁舎落成（各支所を廃止）	鳥栖西中学校開校（麓・旭中を統合）▼鳥栖基山農業協同組合設立	河内ダム完成③	第3代市長に原忠實氏▼	河内小学校廃校▼鳥栖商業高校開校	鳥栖市の人口が5万人を突破	九州自動車道・鳥栖―古賀間開通	上水道通水式、宝満川から市独自の取水開始	若葉小学校新設開校▼鳥栖商工団地の分譲開始	安永田遺跡が国史跡に指定	鳥栖駅前操車場（ヤード）廃止▼市民憲章、市の花「ハナシヨウブ」制定	長崎自動車道・鳥栖―佐賀大和間開通	鳥栖小学校高田分校廃校	第4代市長に山下英雄氏▼大分自動車道・鳥栖―朝倉間開通▼ジャンクシヨン全面供用開始	鳥栖西部工業団地の分譲開始	「フツペルのピアノ」保存へ⑤▼スポーツ都市宣言	映画「月光の夏」上映	市の鳥「メジロ」制定▼サッカークラブ・PJMFユースチームが鳥栖市に移転



①合同調印式



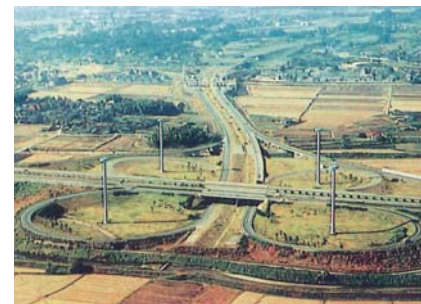
②鳥栖駅での電化開通の式典



③河内ダム落成



⑦新鳥栖駅を出発した一列車



④昭和54年ごろの鳥栖ジャンクション（大分自動車道は未完成）



⑤フツペルのピアノ



⑧教科「日本語」スタート



⑨特別住民票、特別マイナンバーカードを交付



⑩新庁舎が完成

平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成13年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成30年	令和3年	令和5年	令和6年
1996	1997	1998	1999	2001	2004	2005	2006	2007	2008	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2018	2021	2023	2024
鳥栖駅東西連絡通路「虹の橋」開通▼鳥栖スタジアムが完成、こけら落としに約2万人が来場⑥	フューチャーズが解散、「サガン鳥栖FC」が発足▼鳥栖北部丘陵新都市（産業用地）の分譲開始	鳥栖北部丘陵新都市「弥生が丘」の住宅分譲開始	第5代市長に牟田秀敏氏▼鳥栖市の人口が6万人を突破	鳥栖ジャンクションに高架橋「サガングロス橋」が完成	鳥栖プレミアム・アウトレツトが完成▼鳥栖市イメーヅキャラクター・とつとちゃん誕生	福岡県西方沖地震発生、鳥栖市は震度5弱を観測	勝尾城筑紫氏遺跡が国史跡に指定▼佐賀県立九州シンクロトン光研究センター開設▼グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖の分譲開始▼鳥栖貨物ターミナル駅完成	第6代市長に橋本康志氏	弥生が丘小学校新設開校	九州新幹線鹿児島ルート全線開通、新鳥栖駅開業⑦▼サガン鳥栖がJ1昇格決定▼鳥栖西部第二工業用地の分譲開始	まちづくり推進センター開設▼ドイツ・ツアーズ市と「友好交流都市協定」を締結▼鳥栖市の人口が7万人を突破	九州国際重粒子線がん治療センター開設▼久光製薬スプリンクスが女子バレーボール史上初の5冠達成	藤木遺跡から青銅器（銅釘）の石製鋳型が全国初出土▼鳥栖市学校給食センターが完成	森林基幹道九千部山横断線開通	熊本地震発生、被災地へ職員を短期派遣	鳥栖市への進出企業数が200社に到達	とつとちゃん、ハルちゃん、ウイントスに特別住民票、特別マイナンバーカードを交付⑨	第7代市長に向門慶人氏▼市役所新庁舎が完成⑩▼サロンパス®アリーナが完成し、久光スプリングスの練習拠点が鳥栖市に▼ゼロカ！ボンシテイ宣言	市制施行70周年▼小郡鳥栖南スマイルインターチエンジへのアクセス道路である県道鳥栖朝倉線が開通

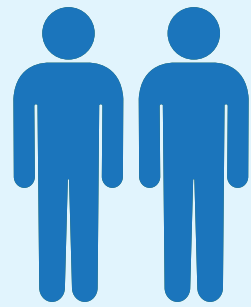


データでみる鳥栖市

人口 (令和6年1月推計人口)

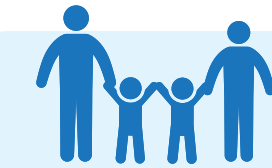
74,756人

男性 35,835人 女性 38,921人



面積

71.72 km<sup>2</sup>



世帯数 (令和6年1月推計人口)

31,460世帯



転入 (令和5年)

10.6人/日



転出 (令和5年)

9.9人/日



3区分別人口割合

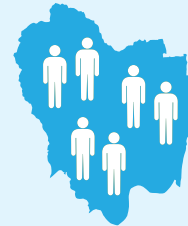
(令和6年1月推計人口 / <>内は全国平均)

年少人口 (14歳以下) 14.0% <11.4%>

生産年齢人口 (15~64歳) 60.8% <59.5%>

老年人口 (65歳以上) 25.1% <29.2%>

小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%になりません



人口密度

(令和6年1月推計人口)

1,042.3人/km<sup>2</sup>

県内1位



住民の外国人割合

(令和6年1月)

2.58%

県内1位



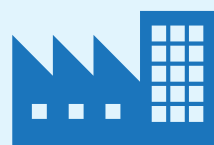
出生 (令和5年)

1.4人/日



死亡 (令和5年)

2.2人/日



製造品出荷額

(令和3年経済センサス-活動調査)

3,833億  
9,892万円

県内1位



鳥栖市への通勤が多い自治体

(令和2年国勢調査 / <>内は流入人口に占める割合)

- 1位 福岡県 久留米市 <24.6%>
- 2位 福岡県 小郡市 <11.1%>
- 3位 佐賀県 みやき町 <8.5%>
- 4位 佐賀県 基山町 <8.2%>
- 5位 佐賀県 佐賀市 <6.8%>



鳥栖市からの通勤が多い自治体

(令和2年度国勢調査 / <>内は流出人口に占める割合)

- 1位 福岡県 久留米市 <20.1%>
- 2位 福岡県 福岡市 <18.5%>
- 3位 佐賀県 基山町 <8.7%>
- 4位 佐賀県 佐賀市 <8.6%>
- 5位 佐賀県 みやき町 <7.3%>



昼夜間人口比率

(令和2年国勢調査)

111.66

「昼夜間人口比率」とは、夜間人口(常住人口)100人あたりの昼間人口の割合で、100を超えると通勤・通学の流入が超過している(人が通ってくるまちである)ことを示します



鳥栖インターチェンジ利用台数

(令和4年度 / 資料:西日本高速道路株)

24,209台/日



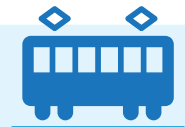
鳥栖市内駅乗車人員

(令和4年度 / 資料:九州旅客鉄道株)

鳥栖駅 6,030人/日

新鳥栖駅 1,630人/日

弥生が丘駅 1,237人/日



肥前旭駅 683人/日

肥前麓駅 522人/日

田代駅 495人/日



市内の保育所・幼稚園・学校数 (令和4年学校基本調査)

保育所

17カ所

幼稚園  
(認定こども園を含む)

8園

小学校

8校

中学校

5校

高等学校

3校

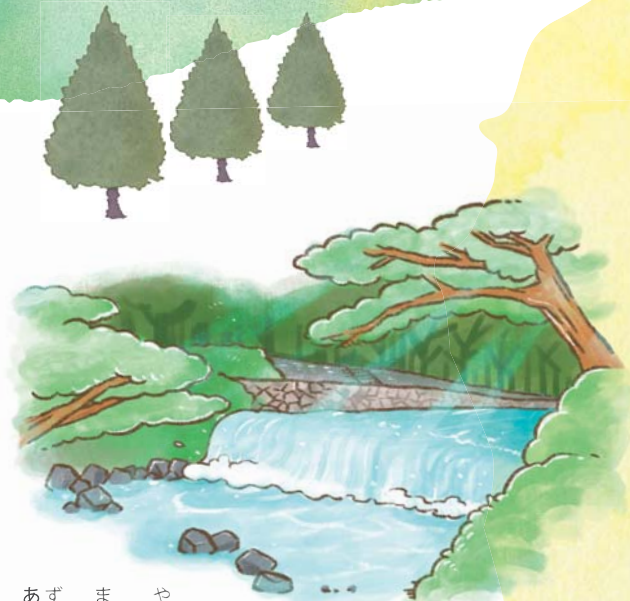
短期大学  
専修学校

6校



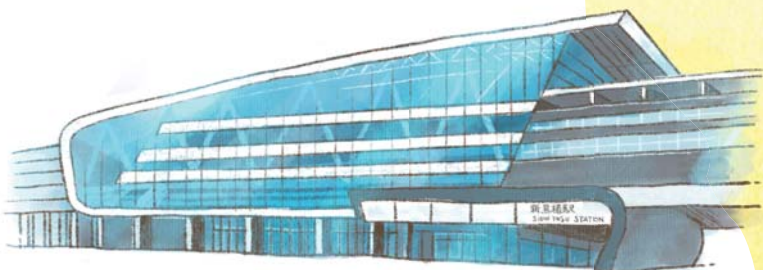
# とすマップ

TOSU MAP



## あずまや 四阿屋

牛原町に流れる河内川の四阿屋神社境内付近を『四阿屋』といい、その境内に流れる溪流はまさに天然のプール。夏季には遊泳場として開放しており、子どもたちの元気な声が響きます。



## 新鳥栖駅

在来線と新幹線の乗換駅であり、鳥栖インターチェンジまで車で約10分の場所に位置。陸路交通における『西九州の玄関口』としての役割を担っています。



## 朝日山公園

標高132.9mの丘にある公園で、山頂の展望台からは鳥栖市内や佐賀平野東部が一望できます。桜の名所のほか、階段はトレーニングにも使われています。



## 鳥栖プレミアム・アウトレット

国内外の人気ブランド約170店舗が集まった大型アウトレットモール。非日常を感じながら買い物ができ、週末には多くの人でにぎわいます。



## 鳥栖ジャンクション

九州の南北を走る九州自動車道と東西を走る長崎自動車道・大分自動車道が交差します。



## サロパス®アリーナ

久光スプリングスの練習拠点。主にチームが使用する約1,400席のメインアリーナのほか、一般利用できるサブアリーナやジムを備えたスポーツ拠点です。

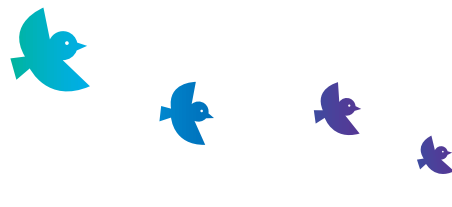


## 駅前不動産スタジアム

サガン鳥栖のホームスタジアム。約25,000人収容、フィールドは約10,000㎡の天然芝のスポーツ競技場です。

- … 保育所、幼稚園、認定こども園 25カ所
- … 小学校 8校
- … 中学校 5校





鳥栖市  
TOSU CITY

2024鳥栖市勢要覧

編集・発行 鳥栖市政策部情報政策課  
〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町1118番地  
TEL0942-85-3513 / FAX0942-82-1994  
<https://www.city.tosu.lg.jp/>  
令和6年3月発行

